

【シリーズ戦としての運用】

1. 年間全7大会を開催する。
2. 第4戦、恩賜林チャンピオンシップスは高ポイント大会とし、ポイントランキング上重要なレースとする。(他よりも高いポイントを付与する)
3. 第5戦、千葉公園大会は最終戦として高ポイント大会とし、ポイントランキング上重要なレースとする。(他よりも高いポイントを付与する)
4. JCF公認CJ開催地を3大会含む事により、ステップアップへの機会を提供する。
5. DOWNHILL SERIES 同時開催を4大会含む事により、競技技術の向上を図る。
6. ポイントランキング制度を導入し、年間ランキングを集計する。
 - a) ポイント対象全7戦のうち、ポイント上位3戦分で集計する。
 - b) ポイントテーブルは別途案内
 - c) 恩賜林チャンピオンシップス大会、千葉公園大会のポイントは20%～25%高い配分とする。
 - d) 上位3戦分のポイントで同点だった場合、千葉公園大会への参加者を上位とする。
 - e) それでも同点だった場合、シリーズへの参戦数の多い者を上位とする。
 - f) それでも同点だった場合、5戦すべてのポイントの和の多い方を上位とする。